



主な内容

公立病院等の在り方	2 ~ 7
お知らせ	8 ~ 13
声・掲示板	14 ~ 15
情報BOX	16 ~ 19
えな自慢	20



今月の写真

市が進めている市民三学運動の1つの柱「読書のすすめ」が広がり、本を手にする切っ掛けになればと、9月15日に恵那文化センターで絵本ライブ in 恵那が開催され、約120人の親子が参加。子どもたちは、安藤哲也さん(NPO法人ファザーリング・ジャパン代表)の読み聞かせに夢中になっていました。



▲昭和52年に開院した国保上矢作病院



▲国立療養所恵那病院から引き継がれた市立恵那病院

市公立病院等の在り方検討委員会の報告書

医療の連携と 役割分担が必要

地域医療サービスの在り方と医療機関の役割を検討してきた「公立病院等の在り方検討委員会」が、7月22日に行われ、市長へ報告書を提出しました。これは、施設の老朽化が進んでいる市立恵那病院と国保上矢作病院の二つの市立病院、地域医療を支えている六つの診療所の将来の在り方などを検討した結果をまとめた報告書です。

市では、この報告を受けて、今後、市の医療体制の整備方針を具体的に決めていきます。

ここでは、提出された報告書の主な内容を紹介していきます。

□問い合わせ 病院管理課 ☎ 43-1265

市民意識調査の結果

最重要施策は医療機関

市では、市民が市の現状に対してどのように評価し、これからの市の発展方向をどのように認識しているかを把握するため、定期的に意識調査をしています。

平成22年度に、市全域の市民2,500人を対象に行った調査では、重要度の高い施策の第1番目が「医療機関（病院・診療所）」でした。第2番目としても「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」が挙げられています。結果、医療機関のサービスの充実に対する期待が大きいことが分かります。

また個別施策として行った調査の一つ「安心して子どもを産み育てるためには何が必要だと思いますか。」では、全体の65.9％の方の回答が「産科と小児科の充実」でした。

重要度の高い施策の上位3施策

1	医療機関(病院・診療所)	66.8%
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	64.5%
3	ごみ収集と処理サービス	60.7%

■病院の整備方針

限られた医療資源を活用

市内の公立医療機関は、市の中核的医療機関としての市立恵那病院と国保上矢作病院の二つの病院があります。地域を支える医療機関としては、国保三郷診療所と国保飯地診療所、国保岩村診療所、国保山岡診療所、国保串原診療所、上矢作歯科診療所の六つの診療所があります。

救急医療体制を整えた二つの市立病院が軸となり、市内の医療機関とで医療を行っています。また公立の医療機関以外では、医科は22、歯科は19の民間医療機関が開業しています。

市内の医療体制は、日常的な疾病を診る一次医療と緊急的な救急体制（二次救急医療）を課題として、市

内の限られた医療資源を有効活用していくように、公立医療機関と開業医が連携し、役割分担を図ることが必要です。

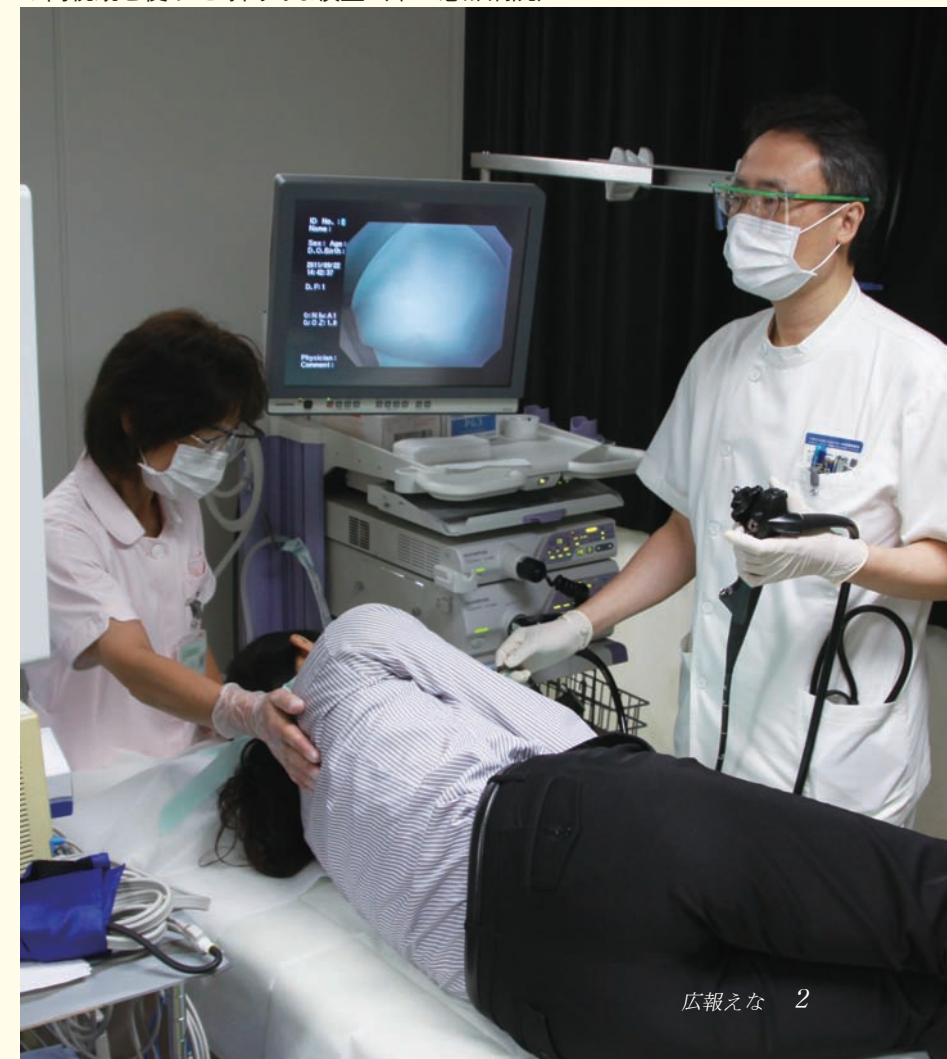
市立恵那病院

先立つて再整備が必要

市立恵那病院は、国立療養所恵那病院を引き継ぎ、平成15年12月に市立恵那病院として開院しました。必要な医療機能とともに、玄関や明るい待合ホール、喫茶室を備え、病室もゆとりある部屋へと変わりましたが、病棟自体は昭和44年に建設した建物もあり、老朽化が進んでいます。

報告書では、耐用年数の経過や耐震性の問題、また診療科の充実により、市の中核病院として先立つて再整備が必要としています。建設地は、

▼内視鏡を使った専門的な検査（市立恵那病院）



市公立病院等の在り方検討委員会とは

市総合計画後期計画では、病院施設や設備を整備する事業が盛り込まれています。これを実施

するため、医療施設の再整備計画と、地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供していける経営の在り方を市民レベルで検討する委員会が、昨年9月に発足しました。これが市公立病院等の在り方検討委員会です。

委員には、学識経験者や医療関係者、地域組織関係者、経済団体関係者、公募した方など18人。8回にわたり、さまざまな角度から検討しました。また本年6月には、市内13地域の地域協議会の代表者による「市公立病院等の在り方フォーラム」を開催して、意見の聴取も実施。意見は報告書や付帯意見として反映されています。

現在の病院に隣接する市有地が望ましいとしています。

再整備を行う場所は、今後の高齢化の進展を考えると、市街地への移転が最も良いと考えられますが、病院が建設できる広大な土地を確保することが難しいのも現状です。

現在の病院が建っている場所は、約31畧の広大な敷地面積を有しており、病院を建設する面積が確保できます。また新たに土地を購入する費用が掛からない利点もあり、建設費に関係する費用が抑えられます。

国保上矢作病院

総合的に勘案して再整備

国保上矢作病院は、昭和50年に国民健康保険上矢作診療所として創設され、その後昭和52年4月に国保上矢作病院となりました。平成16年度に耐震補強のための工事を行い、地震への備えはできているものの、病院の建物自体の老朽化は進みつつあります。

報告書では、今後の人口減少や高齢化、医療スタッフの確保、へき地医療拠点病院としての役割などを総合的に勘案して、再整備を行うとしています。その際には、現在の病院の敷地面積が約0.7畧と手狭なことや、敷地が借地となっていることから、移転することが望ましいとしています。



▲地域協議会の代表が意見を述べた

市公立病院等の在り方フォーラム 13地域の意見を聴取

市公立病院等の在り方検討委員会では、市内13地域の地域自治区地域協議会の意見を聞くため、6月10日に市消防防災センターで、市公立病院等の在り方フォーラムを開催しました。このフォーラムには、検討委員と地域協議会代表者、傍聴者の約80人が参加し、それぞれの立場からさまざまな提言や意見が語られました。

主な意見は、次の通りでした。

- 市立恵那病院**
- ・救急車でも30分掛かるが、一番近い病院。医師やスタッフも併せ、市の中核病院として機能を整えてほしい。
 - ・財政状況を踏まえ、現在の敷地内で再整備するのが良い。
 - ・整備は市の中核病院としての役割にとどめ、県立多治見病院との連携や他の病院と機能分担を行えば、総合病院まで目指さなくてもよい。
 - ・元の国立療養所という暗いイメージがある。いわむらカントリー横の広大な土地に病院を建てれば景色も良く、気分的にも病気が早く治るのでは。
 - ・東濃厚生病院はバスで直接行けるが、市立恵那病院は、明知鉄道とバスを乗り継いでいくため、高齢者には大変だ。
 - ・薬局が病院と離れていて不便だ。
 - ・市立恵那病院と統合し、分院とする。
- 国保上矢作病院**
- ・元の国立療養所という暗いイメージがある。いわむらカントリー横の広大な土地に病院を建てれば景色も良く、気分的にも病気が早く治るのでは。
 - ・東濃厚生病院はバスで直接行けるが、市立恵那病院は、明知鉄道とバスを乗り継いでいくため、高齢者には大変だ。
 - ・薬局が病院と離れていて不便だ。
 - ・市立恵那病院と統合し、分院とする。

■診療科目

産婦人科の設置を目指す

現在、市立恵那病院は18の診療科、国保上矢作病院は12の診療科があります。今後は、高齢化の進展で慢性疾患患者の増加が予想される中、近

隣の医療機関と連携をしても不足すると推測される産婦人科などの診療科の充実が必要です。

報告書では、緊急体制が整った二次医療機関としての使命である緊急患者の受け入れや、入院患者の診療を最重要課題として、一次医療機関

の「かかりつけ医」となる診療所と連携する「病診連携」の充実を図るとしています。

平成22年度に行った市民意識調査の結果では、「安心して子どもを産み育てるため、産科と小児科医療を充実してほしい」という、強い要望

- して保健・医療・福祉・地域包括ケアを提供すること併せ、上矢作歯科診療所も統合する。
- ・南に国保上矢作病院、北に市立恵那病院、間にいくつかの診療所がある今の形は、市民の健康を守るために大切。
- ・国保岩村診療所を充実させ、国保上矢作病院は、規模を大きくした診療所とすることが望ましい。
- ・合併協議会の中で、恵那病院と上矢作病院と各診療所は、「将来にわたり現行の業務体制と運営形態を引き継ぎ、福祉充実のため地域医療の基本施設として、さらに充実を図る」として合併協定が採決された。協定を順守されたい。
- ・合併調整方針を7年目にして方針変更ということが起きては、今後の市政に大きな禍根を残す。
- ・すぐには無くさず、診療所として拡充を図ってほしい。
- ・長野県や愛知県にまたがる地域医療の拠点として、夜間や休日診療

- 療、救急医療にとっても重要な役割を担い、予防医療にも取り組んできた。療養病床があることは、高齢社会にとって大切だ。
- ・医療機関が無くなったたり縮小したりすると大変。国保上矢作病院は、財政上の負担を隣県にも求めているかどうか。
- ・統合や縮小となれば、恵南地域はもとより、近隣において医療の過疎化が一気に進むだろう。

- ・産婦人科は充実しないと、人口減少に拍車がかかる。
- ・若者の定住を図るため、子どもを安心して育てられるように、産婦人科と小児科の充実が必要だ。
- ・退院後の医療リハビリを受けられるような在宅医療との連携を充実してほしい。
- ・診療内容の充実など、今必要なことを先にやってほしい。
- ・交通アクセスについて、力を入れてほしい。
- ・市立恵那病院が整備されても、遠路からのアクセスという問題が大きい。高齢者も増えてきており、コミュニティバスの整備が必要である。

- ・市には産科が無いと、安心して子どもが産める体制をつくらしてほしい。里帰り出産もできる体制も希望する。
- ・産婦人科医療は、中津川市民病院との連携により、市立恵那病院の医療体制の充実を望む。

- ・初期治療
- ・ドクターカーを市民病院に設置し、医師が速やかに駆けつけ、初期治療をして、その後、救急車で搬送する体制をとれば、介護要因の減少にもつながる。

病院の一本化

- ・市の規模から考え、事業費が限られるということから、病院を一本化したかどうか。
- ・岩村町、山岡町、明智町の患者

- は、東濃厚生病院へ流れている。明智町から市立恵那病院に通うよりも、東濃厚生病院へ通った方が近いのならば、広域医療のことも考えた方がよいのでは。
- ・各診療所
- ・岩村診療所に、入院施設などを備えるように充実してほしい。
- ・今後も診療所を堅持して、機器などの交換や充実を図るようにしてほしい。
- ・申原診療所は、他の診療所と同様に医師の常駐化を目指してほしい。

- ・診療所と市立恵那病院や国保上矢作病院、東濃厚生病院との連携を行ってほしい。
- ・経営状況の公開
- ・公立病院を残していった場合、10年後にどのぐらいの赤字が膨らむのか、経営していく中で、どのぐらいの数字が出てくるのかといったことを知らせるべき。
- ・民間病院を誘致するために、市としての優遇措置を全面に出して、進めていくという対策の検討もしてほしい。

介護福祉施設の充実

- ・必要なときに、介護福祉施設へ入所できるように、充実をしてほしい。

もありました。

報告書では、市立恵那病院を再整備する場合の診療科は、現在市内には無い産婦人科の設置を目指すとしています。しかし、全国的に産婦人科の医師の確保が難しい状況です。出産年齢が上がり、出産の危険が高くなっている中、小児科医の増員や、助産師や看護師などのスタッフを確保して、出産チームとしての編成が必要となっています。産婦人科の設置は、採算がとれないことが予想されるため、市の一般会計からの繰り入れが必要になることが予測されます。

より危険の伴う出産を担う地域周産期母子医療センターの設置については、当市と中津川市の広域的な範囲での充実を図ることが現実的で、中津川市と協議する必要があるとしています。

近隣には、透析医療の導入施設がありません。腎臓内科の設置と入院機能に関しては、国保岩村診療所にある市透析センターの維持透析機能の在り方と併せて、検討する必要があるとしています。

緊急対応に必要な脳外科や循環系疾患については、新たな診療科を設けず、近隣の医療機関と機能分担を行い、病院と病院が連携する「病病連携」の充実を図ることとしています。

□現在の診療科

市立恵那病院

- 内科 ●呼吸器内科 ●消化器内科 ●循環器内科 ●老年内科 ●外科 ●呼吸器外科 ●消化器外科 ●肛門外科 ●乳腺外科 ●整形外科 ●小児科 ●婦人科 ●眼科 ●耳鼻咽喉科 ●リハビリテーション科 ●放射線科 ●救急科

18診療科

国保上矢作病院

- 内科 ●呼吸器内科 ●消化器内科 ●外科 ●呼吸器外科 ●消化器外科 ●肛門外科 ●整形外科 ●小児科 ●リハビリテーション科 ●放射線科 ●麻酔科

12診療科



▲小児科医療の充実が望まれる

市民レベルの 意見を集約できた

市立病院等の在り方検討委員会
にしむら みつぐ 委員長
(岐阜大学地域科学部教授)



医療制度改革や人口が減少へと変動している中、公立病院や診療所、開業医の連携や役割分担など、市の病院等の在り方については、大変難しい課題である。在り方検討委員会が市長に報告した内容は、それぞれの分野から参加した委員の意見や、市内13地域にある地域協議会の代表者からの意見など、市民レベルの意見が集約されたものだと思っている。特に、地域協議会が参加した公立病院等の在り方フォーラムの取り組みは、評価されていいものだ。

市民の健康を守る中心的な位置にある医療は、市民生活にとっても重要なもの。しかし、市内にある二つの病院が、老朽化していく。再整備をするにも多くの資金が必要となる。財政的にはどうか、病院経営としてはどうか、というのが大きなテーマでもあったと思う。報告は、市立恵那病院を先立って再整備、国保上矢作病院を総合的に勘案して再整備となった。

市内に無い産科をどうするのか、という課題もあった。この産科についても、お金の負担が生じる。全国的に医療スタッフが不足している中、少子化対策や若者の定住対策としても重要で、まず地元の方が出産できる産科の設置を目指すとした。医療は市民や地域を守るもので、産科については市としても重要。報告通り実現できれば素晴らしいと感じた。

また在り方検討委員会の守備範囲を若干超えているということで、付帯意見として提案した2点。医療機関への交通アクセスの向上や医療と介護の連携や役割分担については、委員や地域から出されたもので課題である。

今後も、医療に関する議論が活発に交わされることを、望んでやまない。

■運営の形態 引き続き同様の運営を

市立恵那病院は、引き続き指定管理者制度による運営とし、国保上矢作病院についても引き続き国民健康保険の直営施設とし、地方公営企業法の一部適用により運営します。

地方公営企業法に基づいて経営する病院は、基本的には診療料などだけで運営できる独立採算が理想とされます。ただし、公立病院の役割として、不採算部門や高度医療など地域住民の健康を守るため、採算性のみを追求できない現状もあります。

■建設地 利用しやすい場所に建設

このことから、一般会計からの繰り出しは、地方公営企業の繰り出し基準などによるものとし、効率的で効果的な病院運営を行うことが必要としています。

建設地の一般論としては、患者や家族が利用しやすい場所、公共交通網が整備されているか整備可能な場所、防災や災害対策の観点から病院そのものが災害により機能を停止することがないような場所、用地取得

■診療所 身近でより適切な治療

地域住民の健康保持や福祉の向上を図るための医療機関でもある診療所。引き続き、市立病院との病診連携を進め、利用者が身近でより適切な治療を受けることができる医療機関として運営を望むとしています。

費や造成費などの費用が高額にならない場所、などが挙げられます。

両病院を再整備する場合の建設地は、3ヶ所に記載の通りです。

病院の再整備の方針を 具体化へ

市では、市立病院等の在り方検討委員会の報告を受けて、合併協議会での調整方針や平成19年の市議会・病院対策特別委員会の報告などを総合的に勘案して、病院の再整備などの方針について検討し、具体化を進めていきます。

10月末を目標に、市立恵那病院を先立って再整備するための病院規模や診療科、建設場所、建設年次、既存施設の利用などの方向を決める予定です。

それを市議会・病院医療対策特別委員会に諮ります。



▲委員長から市長に調査報告書を手渡す

■病床規模

現在の病床数を基本に

市立恵那病院には、一般病床が148床と結核病床が10床、療養病床が41床の199床、国保上矢作病院には、一般病床が34床、療養病床が22床の56床あります。このうち、けがや病気の発症直後の急性期治療が一段落した後、在宅復帰などに向けて治療を受ける病床の「亜急性期病床」は、両病院で32床あります。

報告書では、病床規模は急性期病床を中心に、亜急性期病床など地域の医療の要望が高い病床の設置も含めて想定することとするが、現況の病床数を基本病床とするとしています。

市立恵那病院を再整備する場合の結核病床は、結核患者の数が年間平均2・2人と減少しているため、県



▲現在の市立恵那病院の病床数は199床

□現在の病床数

合計	療養	結核	一般	市立恵那病院	国保上矢作病院	合計
199 (28)	41	10	148 (28)			
56 (4)	22	—	34 (4)			
255 (32)	63	10	182 (32)			

()の数値は、うち亜急性期病床数

病院への医療機能の移行を目指します。療養病床は、国や県の施策や方向性をみると、介護保険施設への機能分化が進むと予想されるため、医療と介護の連携の中での検討が必要としています。

病院のベッドの一部をかりつけ医に開放した病床の開放型病床は、診療所などの一次医療機関との間で一貫性のある医療を継続できる利点があるため、一般病床の中に設置します。また産婦人科病床の設置やそれに伴う小児科病床の増設、その他の診療科の充実による病床の増の場合でも、現況の病床数を勘案して決定するとしています。

■施設整備の方針 充実した健診機能が必要

市民に必要な医療サービスを提供するため、施設を整備する場合は、

次のようにする必要があります。

◇救急医療機能の整備

対応可能な二次救急医療機関の役割を果たすために、必要な医療機器を購入し、救急医療機能を整備。現在実施している病院群輪番制、在宅当番医制度の充実強化を行う。

◇リハビリテーション施設の整備

術後などの早期の社会復帰、高齢者の寝たきり防止、他の医療機関からのリハビリ患者の受け入れができるリハビリテーション施設を整備する。

◇訪問看護ステーションの整備

病院として必要な在宅支援事業としては、病気が障がいのある人が住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送ることができるよう、看護師や理学療法士などが生活の場へ訪問し、看護ケアを提供し療養生活を支援する。

◇健診の充実

市民の生活習慣病を分析すると、5疾病と言われる、がんや脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患が多い傾向にある。その対策としては、生活習慣病などの該当者の早期発見と適切な保健指導のために、充実した健診機能設ける必要がある。さらに、動脈硬化検査や乳がん、子宮がん、胃がんなどの検査を含めた人間ドック機能の充実を図る。

▼二次救急医療機関の役割は重要



◇医療情報システムの整備

医療安全の確保、医療サービスの質の向上、医療機関での医療情報の管理と活用効率性、経済性の向上のため、医療情報システムの整備を図る。

◇人に優しい病院建設

施設を利用する全ての人に対して、快適な空間を提供する。また利用者のプライバシーの確保に配慮する。

◇環境に配慮した病院整備

エネルギーの効率的な利用と環境保全を考慮し、地球温暖化防止に貢献できる病院を整備。

◇災害に強い病院

災害時には、多くの被害者への対応が予想されるため、災害によって病院機能そのものが停止することがないように、災害に強い病院とする。

※病院群輪番制＝地域内の病院群が輪番制方式で休日や夜間などに重症救急患者の診療を受け入れる体制のこと

中央新幹線環境影響評価方法書の縦覧と説明会

J R東海による中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価方法書（岐阜県）の縦覧と説明会が行われます。

- 【縦覧】
 □期間 10月27日(木)まで（土、日、祝日を除く）
 □ところ・時間 ▷市役所口 ビー＝午前8時半～午後5時15分 ▷J R東海環境保全事務所（岐阜）《中津川市》＝午前9時～午後5時
 ※ウェブサイト（<http://jr-central.co.jp>）でも確認できます
 【説明会の開催】
 □とき 10月13日(木)午後7時～8時半
 □ところ 市役所会議棟
- 【意見書の提出】
 環境保全の見地からの意見が提出できます。
 □締め切り 11月10日(木)(必着)
 □提出方法 J R東海ウェブサイトか郵送で①氏名②住所③意見（理由を含める）一を記載の上、提出する。
 □提出先 〒108-8799 日本郵便高輪支店留めJ R東海中央新幹線環境影響評価方法書ご意見受付係
 問 J R東海環境保全事務所（岐阜） ☎ 0573-65-6820

案内

ひし屋資料館の板塀をみんなで塗ろう

市の文化財であるひし屋資料館の板塀に、塗料の塗り直しを行います。
 みんなの手で行い、中山道の歴史ある建物を後世へ伝えていきましょう。

- とき 11月5日(土)午前9時～正午（少雨決行）
 □ところ 中山道ひし屋資料館
 □対象 どなたでも参加可能
 □定員 20人程度
 □料金 500円（保険、昼食代）
 □申し込み方法 10月20日(木)までに電話で申し込む。
 □その他 自然塗料を使用しますが、アレルギーがある方は、ご注意ください。はけ、

案内

景観計画策定に向けての事業者説明会

本市の美しい景観を守り育てつつ、まちづくりを進めるための景観計画（案）がまとまりました。
 景観に携わる事業者を対象に説明会を開催します。

- とき 10月12日(水)午後7時～9時
 □ところ 市役所会議棟
 問 都市整備課（内線234）



▲計画で落ち着いた町並みを実現

企業が勝ち残るためのIT活用セミナー

中小企業を取り巻く経営環境は、非常に厳しい状況下に

琴の調べを大井宿の旧家で

琴の三社中に協力いただき、中山道ひし屋資料館で琴の演奏を行います。

この資料館は、江戸から明治にかけて大井宿で栄え、大

- 問 恵那商工会議所（大和谷） ☎ 26-1211
 □対象 経営力向上を目指す気持ちのある方や経営者、後継者、幹部社員
 □定員 20人
 □料金 無料
 □講師 池山昭夫氏（ものづくりIT担当コーディネーター）
 問 恵那商工会議所（大和谷） ☎ 26-1211

無料調停相談

調停委員による無料相談会を行います。

- とき 10月31日(月)午前10時～午後4時
 □ところ にぎわいプラザ6階（J R中津川駅前）
 □内容 家庭内紛争、交通事故、土地建物、金銭などの問題の調停・法律相談
 □相談員 調停委員、弁護士
 □料金 無料
 問 中津川簡易裁判所 ☎ 0573-66-1530

行政書士無料相談会

手袋は準備します。汚れてもいい服装でお越しください。
 申・問 文化課 ☎ 43-2112（内線322）



▲塗り直しを行うひし屋資料館

休日夜間の納税相談を開催

市税をどうしても納期限までに納付できない場合は、事

- とき 10月21日(金)午後1時～4時
 □ところ 山岡コミセン
 □内容 相続・遺言、農地転用許可、建設業許可などの相談
 □料金 無料
 問 永谷行政書士事務所 ☎ 25-2281、総務課（内線307）

地域懇談会を10月から開催 ～地域計画と一緒に考えよう～

毎年、市民の皆さんの意見や提案を的確に把握して市政に反映させるため、地域協議会と共催で地域懇談会を開催しています。

特に今回は、昨年度策定した後期地域計画にある地域ごとの課題について、行政と一緒に考え取り組むための機会とします。

各地域懇談会の日程と会場は、下の表の通りです。皆さん、ぜひ参加ください。

問 まちづくり推進課（内線635）



▲昨年度の地域懇談会（長島町）

とき	地域名	ところ
10月25日(火)	笠置町	笠置コミセン
11月9日(木)	東野	東野コミセン
11月10日(木)	長島町	恵那文化センター
11月11日(金)	三郷町	三郷コミセン
11月14日(月)	岩村町	岩村コミセン
11月15日(火)	中野方町	中野方コミセン
11月21日(月)	大井町	大井小学校体育館
11月22日(火)	山岡町	農村環境改善センター
11月24日(木)	上矢作町	上矢作コミセン
11月29日(火)	串原	サンホールくしはら
11月30日(水)	飯地町	飯地コミセン
12月6日(火)	明智町	明智文化センター
12月8日(木)	武並町	武並コミセン

※開催時間は、各地域とも午後7時から9時まで

年賀状を作ろう

初心者でも簡単にできる版画講座を開催します。
 一味違った年賀状を作ってみませんか。

- とき 11月2日(火)、8日(火)、16日(火)、22日(火)、29日(火)午後2時～4時半（全5回）
 □ところ 中山道広重美術館
 □対象 20歳以上の方
 □定員 20人（先着順）
 □講師 厚見正紀氏
 □料金 2000円（観覧料1回分と材料費を含む）
 □持ち物 鉛筆（2Bか4B）、色鉛筆、彫刻刀、古はがき、水彩絵の具セット
 ※初回は筆記用具のみ持参
 □締め切り 10月25日(火)
 申・問 中山道広重美術館 ☎ 20-0522

パーストリップ調査にご協力を

県では、人の動きを調査するパーストリップ調査を行います。

無作為に選んだ家庭へ、10月から11月に調査票を送ります。該当した方は、協力をお願いします。

問 県調査相談窓口 ☎ 0120-101-711、都市整備課（内線233）



▲昨年の版画講座での年賀状作成

串原地区内の市有地を分譲

市の定住対策の一環として、次の通り市有地の分譲を行います。

□分譲する土地 串原字北松林 4937番地18他 11 筆

□分譲の方法 一般公募とし、応募多数の場合は、抽選を行います。

□締め切り 12月12日(月) (当日消印有効)

□抽選 ▷とき＝12月18日(月)午前 10 時 ▷ところ＝串原コミセン

□応募の条件

- ・この地域に定住を希望する方。(市民の方を第1順位とし、市外の方を第2順位として登録。定住を希望する市民の方を優先して分譲します)
- ・複数の区画を申し込むことができます。ただし、購入できるのは、1家族1区画のみです。

□必要な要件

- ・購入者は、5年以内に住宅を建築する必要があります。

※建築できなかった場合は、市が買い戻しますが、30 万円の違約金が発生します

・分譲の決定後 14 日以内に契約を行い、契約時に契約金額の 10 万円の代金、残額を 60 日以内に支払うことが必要です。

申・問 ふるさと活力推進室 (内線 381)

区画の面積と価格

区画番号	面積	平地面積	価格
1	413.08 平方メートル	304.64 平方メートル	91万1千円
2	461.95 平方メートル	311.81 平方メートル	95万1千円
3	542.13 平方メートル	326.28 平方メートル	102万1千円
4	604.16 平方メートル	367.08 平方メートル	121万9千円

瑞浪恵那道路の説明会を開催します

国道 19 号の瑞浪恵那間は、現在 2 車線の対面通行となっており、慢性的な渋滞の発生、交通事故の多発によって、緊急車両の通行にも支障をきたしています。

市では、こうした問題を解消するため、瑞浪市と

当市の 12.5 キロメートルを結ぶ新設の 4 車線道路「瑞浪恵那道路」の都市計画決定に向けた地元説明会を開催します。

皆さんの意見をお聞かせください。

問 都市整備課 (内線 233)



※事務所を置く事業者の方や対象の地域以外の方でも、全ての説明会に参加できます

とき	対象	ところ
10月19日(水) 午後 7 時	武並町	武並コミセン
10月24日(月) 午後 7 時	長島町	市役所会議棟
10月25日(火) 午後 7 時	市内全域	市役所会議棟

案内

10月はシルバー人材センター事業普及啓発月間

市シルバー人材センターでは、高齢者の知識や技能を生かし、仕事やボランティア活動など、積極的な社会参加を目指しています。市内在住で 60 歳以上の健康で働く意欲のある方を募集しています。入会説明会は、毎月第 2 木曜日午後 1 時半にセンター会議室で開催しています。お気軽にお越しください。市シルバー人材センター 25-7788

障害者自立支援法のサービスが追加

障害者自立支援法などの一部改正により、10 月から障がい者への新しいサービスが始まります。【重度視覚障がい者に対する同行援護】視覚障がい者の移動や外出先において、代筆や代読などの情報支援や移動支援を行います。

ます。【グループホーム・ケアホーム利用者に対する費用助成】市民税非課税世帯の方がグループホームなどを利用する際、月額 1 万円を限度に助成します。

【共通】

サービスを利用するには、サービス名を明記した障害福祉サービス受給者証が必要となります。

詳しくは、社会福祉課まで問い合わせください。社会福祉課 (内線 134)



▲障害福祉の受給者証

市プレミアム商品券を発売します

ことしも、市と恵那商工会議所、恵那市恵南商工会で組織する市共通商品券実行委員会では、市共通プレミアム商品券を発行しています。この共通商品券は 1 万円につき 10 割のプレミアムが付いています。



▲発売されるプレミアム商品券

千円券が 9 枚、500 円券が 4 枚で合計 13 枚つづりのセットです。一世帯当たりの販売限度額は、5 万円 (商品券は 5 万 5 千円) です。□発売開始日 10 月 1 日 (土) □有効期間 平成 24 年 3 月 31 日 (土) まで □販売所 各振興事務所、十六銀行、岐阜信用金庫、大垣共立銀行、岐阜銀行、東濃信用金庫、JA ひがしみの、恵那市商店街ボックスショップ、恵那商工会議所、恵那市恵南商工会、恵那商工会議所各地域小規模振興委員事業所 ※一部の販売所では、販売日が異なります。詳しくは、9 月 20 日折り込みのチラシをご覧ください。問 恵那商工会議所 26-1211

空き屋改修補助金を活用してください

市では、空き家バンクに登録している空き家の改修費用の一部を助成します。この助成は、空き家を有効活用するために改修し、定住を支援するものです。□補助 上限金額を 100 万円として、補助対象改修費の 2 分の 1 □対象の家屋 ①本市の空き家バンクに登録している空き家で、入居者が決まっていること ②一戸建て住宅であること □補助者の要件 ①物件の所有者 ②入居者 (所有者及び賃借人) が、ことし 4 月 1 日以降に転入した方で、過去 3 年の間に市内に住民票を登録していない方 ③補助を受けてから、今後

5 年間は住居として利用できる方 □補助対象の内容 ・生活に必要な、主要構造部の修繕であること (備品、暖炉、いりり、まきストーブなどは対象外です) ・工事費は 10 万円以上であること ・施工業者は、市内に事業所を有する法人または個人事業主であること ・改修などが、平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日に行われたものであること ※改修費は 1 物件につき 1 回のみの適用です。事前に申請が必

要となります。詳しくは下記に問い合わせください

申・問 ふるさと活力推進室 (内線 382)



▲居住できるよう空き家を改修

案内

めざせ就職★セミナー

応募書類の基礎から面接マナーまで、1日で就職活動を学びます。

□とき 10月12日(水)午前10時～午後3時

□ところ サンライフ中津川研修室C

□定員 12人(事前予約制、先着順)

□対象 求職中の方

□料金 無料

□持ち物 雇用保険受給資格者証(受給中の方)

申・問 勤労者総合支援センター ☎ 0573-65109088

市役所の仕事の成果を公表します

市の行政評価の取り組みとして、総合計画管理チェックシートと事務事業成果表を、市公式ウェブサイトに公表しました。

総合計画管理チェックシ

案内

えなの木で家づくり支援事業が3年間延長

市では、市内産の木材の需要拡大を目的に、地域材を利用して、市内に新築の木造住宅を建築した場合に助成する「えなの木で家づくり支援事業」を行っています。

今回、同事業で行われている固定資産税減免や奨励金の交付など、助成の期間を3年間延長します。

□期間 平成27年1月1日まで(建築の契約をし、平成28年1月1日までに完成し登記などを完了すること)

□要件 市産材(やむをえない場合には県産材)の柱を30本以上使用した木造住宅で、市内に本店がある事業者が市内に主たる事業所がある個人事業者と建築の契約をした住宅

※この事業について申請を予定している方は、事前に林業振興課まで問い合わせてください

□金額 ▽市内在住者 112

トとは、総合計画に位置付けられた31の施策についての達成度を示しています。また事務事業成果表とは、市の行っている602の事務事業について、その進捗を管理するものです。

今回は、平成22年度事業の事後評価として公表します。市ウェブサイト(<http://www.city.etsuonline.jp>)の「市政の案内」の項目から「行政評価関連資料」メニューの中からご覧ください。

問 企画課(内線332)

ビューティーレッスンで自分を磨き高める

顔のトレーニングなどを通して、日常の自分と向き合っている心の再確認を行います。

□とき 11月15日、22日、29日、12月6日(火曜日) 午後7時～8時半

□ところ 市役所会議棟

□講師 河田とし子氏(中部大学サテライトカレッジ講師)

□定員 30人程度

□料金 無料

□持ち物 大きめの手鏡、筆記用具

合同乳幼児学級らいぶ公演を開催

各地域のコミュニティセンターで行っている乳幼児学級が集まって合同乳幼児学級を開催します。

ことしは、「杉山三四郎さんとさんしろうバンド」で絵本読み聞かせ、らいぶ公演を行います。

□とき 10月29日(土)午前10時15分開演

□ところ 岩村コミセン大ホール

□料金 無料

□対象 各コミセンの乳幼児学級生と一般参加者

問 社会教育課 ☎ 43-2112(内線340)



▲顔と同じに頭皮もマッサージ

10月から「子ども手当」が変わります ～手続きをお忘れなく～

子ども手当制度が見直され、10月1日から手当の金額などが次の通り変わります。これまで子ども手当を受け取っていた方を始め、対象となるすべての方は、改めて認定請求の手続きが必要です。

対象となる世帯へは、11月上旬に申請書類を送る予定です。書類が届きましたら、申請手続きをしてください。

申・問 子育て支援課(内線226)

【新たな支給要件など】

- ・子どもは国内に居住していることが必要です(海外留学は除く)。
- ・児童養護施設などに入所している子どもは、施設の設置者へ支給します。
- ・未成年後見人や父母指定者(父母がともに外国にいる場合)に対して支給が可能となりました。
- ・保育料などを子ども手当から直接天引きされる場合があります。

【申請の手続き】

自宅に送付された申請書類の案

内に従って、子育て支援課か恵那南部地域の振興事務所の窓口や郵送にて手続きをしてください。

□持ち物 請求する方の健康保険証と預金通帳、印鑑
※公務員の方は勤務先での手続きとなります

【申請の期間】

平成24年3月末までに申請をすれば、10月までさかのぼって手当を受け取ることができます。

ただし、10月以降にお子さんが新たに生まれた方や本市へ転入

した方は、15日以内に手続きが必要です。

子ども手当の月額

対象	支給月額
0歳～3歳未満(一律)	15,000円
3歳～小学生(第1子・第2子)	10,000円
3歳～小学生(第3子以降)	15,000円
中学生(一律)	10,000円

※9月までの子ども手当は、中学生まで一律13,000円でした

開館10周年記念 秋季特別企画展

10/6(木)～10/26(水)

所蔵名品展 中山道広重美術館10年の歩み



開館にあたり寄贈を受けた浮世絵版画のほか、開館後に市民の方の好意により寄贈を受けた日本画や洋画、工芸品などの作品を紹介します。

皆さんに育てられ、支えられてきた10年の歩みをご覧ください。

《木曾六十九驛》
「大井 西行坂 うつしゑ」

歌川豊国(三代)

二人の広重(前期) 六十余州名所図会と諸国名所百景

《諸国名所百景》
「尾州 名古屋 真景」

歌川広重(二代)

世界的に有名な浮世絵師歌川広重。そして彼の弟子に二代歌川広重がいます。初代広重がもつ叙情性、二代広重だからこそ描けた新時代の風景と風俗。二人の広重の競演をお楽しみください。

10月2日(日)、11月6日(日)は、市民の日(市民に限り観覧料が無料です。当日、受付係に「恵那市民です」とお伝えください)

問 中山道広重美術館 ☎ 20-0522



定住奨励金と固定資産減免を4年間延長

市では、平成21年1月から転入し、市内に新築住宅を取得した方へ、固定資産税の減免と一世帯につき25万円の定住奨励金を交付しています。

今回、市総合計画後期計画の中で支援策の柱として位置づけられた同事業の期間を4年間延長します。

□対象 ①平成28年1月1日までに完成した新築住宅を取得した方 ②平成21年1月2

日以降に市内に住民登録した方で、市に住民登録をする以前3年以上、市内に住所を有していない方 ③市税などの滞納がない方

□内容 ▽固定資産税の減免 1120平方メートル以下の部分に課せられる固定資産税を3年間、2分の1減免します。

▽定住奨励金 11世帯につき25万円を支給。中学生以下の世帯員がいる場合、1人につき5万円を加算します。

申・問 ふるさと活力推進室(内線382)



岩村上町まちなか交流館に展示場所を

このたび、伝統の技などを体験できる施設の岩村上町まちなか交流館が開館するようですが、施設の活用方法の一つとして要望したいと思います。

伝統の技を次世代へ継承することも大切ですが、高齢者も生きがいに趣味を持っています。例えば絵画や写真、手芸など。これらの作品を展示したり、販売したりする場所を設置できないでしょうか。以前あった、まちかど美術館のような場所を作ってほしい。

(熊谷さん・岩村町)

答

岩村町本町二丁目の旧中村ふとん店が、岩村上町まちなか交流館として、10月1日にオープンしました。ここは、岩村町で継承されて



▲昔ながらの通り庭(左)とかまど(右)が残る岩村上町まちなか交流館

(岩村振興事務所)



『みんなの掲示板』は、皆さんが主催するイベントや各種募集などを市内に周知するためのコーナーです。(営利目的・宗教・政治に関する掲載はできません)
□掲載の申し込み・問い合わせ 企画課広報広聴係 ☎26-2111 (内線319)

第15回記念言志祭

佐藤一斎特別展

言志祭に合わせて、佐藤一斎に関する書籍やびょうぶ、掛軸などを展示する特別展を開催します。

□期間 10月12日(水)～11月



▲佐藤一斎直筆のびょうぶ

大正村のふるさとつたの日カーニバル

日本大正村では、音楽を通じてのまちづくりに挑戦しています。昨年に続き「大正百年ふるさとつたの日カーニバル」を開催します。

ことし3月にふるさとをテーマにした楽曲を全国から募集。この日、最優秀賞の発表を行います。

□とき 11月6日(日)午後1時～5時
□ところ 明智かえでホール

□料金 ▼前売り券Ⅱ大人500円、高校生以下100円 ▼当日券Ⅱ大人1000円、高校生以下200円

□入場券の販売 明智かえでホールや恵南商工会明智本所、日本大正村役場他で



▲明智町出身のシンガーソングライター橋本みずきさんも参加

27日(日)
□ところ 岩村歴史資料館
□料金 ▼一般Ⅱ300円
▽シルバー(65歳以上)Ⅱ200円 ▼高校生以下Ⅱ無料

佐藤一斎まつり

佐藤一斎の業績を顕彰し、その教えを学ぶために、顕彰祭と記念講演会を開催します。

□とき 10月22日(土)

□顕彰祭 ▼時間Ⅱ午前10時～11時 ▼ところⅡ岩村歴史資料館前(雨天の場合

は岩村コミセン)

□記念講演会 ▼時間Ⅱ午後1時半～3時 ▼ところ

Ⅱ岩村コミセン ▼講師Ⅱ

神渡良平氏(作家) ▼演題

Ⅱ佐藤一斎が今に問いかけ

るもの

□料金 無料

問 佐藤一斎顕彰会(鈴木

隆一) ☎090-8135

12421、岩村歴史資料

館 ☎43-3057

山岡町で登り窯フェアを開催

登り窯フェアでは、地元



▲登り窯フェアでは陶器の販売や地元有志のバザーも行う

の特産品販売や、陶土を使ったイベントなどを行います。

10月14日(金)から16日(日)にかけては、秋の登り窯焼成を行います。窯たき体験などもできますので、ぜひ、お越しください。

□とき 10月16日(日)午前10時半

□ところ 山岡陶業文化センター

問 NPO法人まちづくり

山岡 ☎56-3921

レディースネットワークの報告会と講演会

レディースネットワークの活動報告会と、桐井雅康氏(土岐市立泉中学校長)を迎え「今大人が子どもに残せるもの」と題した講演

み、動植物、行事、祭事などの写真
□写真 2L～四つ切、A4インクジェットプリント、銀塩、デジタルデータ、カラー白黒は問わない

□対象 どなたでも応募できます。

□賞 ▼特選Ⅱ3万円(1点) ▼準特選Ⅱ2万円(2点) ▼春夏秋冬賞Ⅱ1万円(各1点) ▼入選Ⅱ5000円(10点) ▼佳作Ⅱ3000円(10点)

□発表 平成24年3月に、新聞や市観光協会岩村支部

のウェブ사이트(<http://www.iw.vtc.net/fureai-yakata/>)に掲載します。

□展示場 江戸城下町の館「勝川家」か、いわむら美術の館「柴田家」

□申し込み方法 ①住所②氏名③年齢④題名⑤撮影日

⑥連絡先―を作品の裏面に記入の上、1人5点まで郵

送か持参する。

□締め切り 平成24年2月29日(水)

申・問 〒509-740

3 恵那市岩村町263番地

2 (社)市観光協会岩村支部

11月期はじめてのパソコン講習会

(町並みふれあいの館内) ☎43-3231

□とき 11月1日、8日、15日、29日(火)午前9時半～11時半

□ところ 恵那文化センター視聴覚室

□内容 ウィンドウズXPを使い、文字入力やマウス、キーボードの使い方など、パソコンの基本操作を丁寧に説明します。

□料金 700円(別途テキスト代1050円)

□定員 18人(定員になり次第締め切り)

□申し込み期間 10月8日(土)午前10時から開講日前日まで(初めて受講する方は、10月24日(月)までに申し込み優先されます)。

※テキストはパソコンに合わせて準備します。パソコンが分からない方は、問い合わせください

申・問 パソコンサポートクラブ ☎090-4265-9727

大正百年祭きもの歳時記・着付けショー

大正百年祭の一環で、初宮参りや七五三、成人式、結婚式などの行事に着る衣装や、十二単の着付けを行います。

古くから続く着物文化を、あなたも見直してみませんか。無料着付けコーナーや茶席もありますので、ぜひ、お越しください。

□とき 10月30日(日)午後1時(午後0時半開場)

□とき 明智かえでホール

□料金 無料

問 日本大正村 ☎54-3944

3944

11月期はじめてのパソコン講習会

□とき 11月1日、8日、15日、29日(火)午前9時半～11時半

□ところ 恵那文化センター視聴覚室

□内容 ウィンドウズXPを使い、文字入力やマウス、キーボードの使い方など、パソコンの基本操作を丁寧に説明します。

□料金 700円(別途テキスト代1050円)

□定員 18人(定員になり次第締め切り)

□申し込み期間 10月8日(土)午前10時から開講日前日まで(初めて受講する方は、10月24日(月)までに申し込み優先されます)。

※テキストはパソコンに合わせて準備します。パソコンが分からない方は、問い合わせください

申・問 パソコンサポートクラブ ☎090-4265-9727

会を開催します。講演会の後は、手作りの菓子をいただきますが、大塚賢太郎さんのピアノコンサートが鑑賞できます。

□とき 10月23日(日)午後1時

□ところ 山岡農村環境改善センター

□料金 100円(協賛金)

問 NPO法人まちづくり

山岡 ☎56-3921

15 2011.10.1

高齢者と若者のつながりなどを話し合う



8月28日に恵那文化センターで、市民のための認知症予防シンポジウムを開催。討論会では、高齢者の話を若者にも聞いてもらうことや人のつながりを強めるには地域の行事を大切にすることなどが話し合われました。

串原で地域の足について学んだ



9月3日にサンホールくしはらで、公共交通シンポジウムを開催。名古屋大学大学院准教授の加藤博和氏は、地域の公共交通を良くするには、地域住民が自ら考えることやみんなが連携することの重要性を語りました。

いわむら城址薪能で味わう伝統芸能の醍醐味



第27回いわむら城址薪能が、天候不良のため、恵那特別支援学校体育館で8月27日に開催。約400人の観客は、重要無形文化財総合指定保持者が演じる、能「橋辨慶」や狂言など、日本の伝統芸能の醍醐味を味わいました。

中山太鼓が愛知学院大学吹奏楽団と競演



サンホールくしはらで8月28日、愛知学院大学吹奏楽団と中山太鼓保存会少年部のふれあいコンサートが行われました。子どもたちは、楽器を体験したり楽団員と中山太鼓の代表曲「神ばやし」を打ち鳴らしたりしました。



人とまち
恵那の今を
お届けします

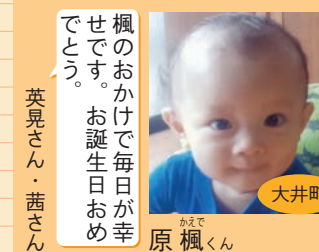
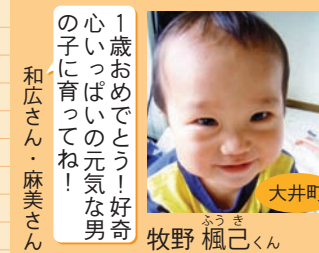
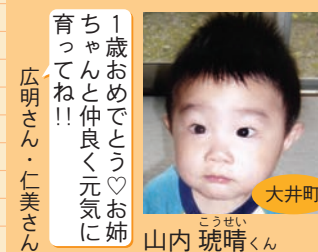
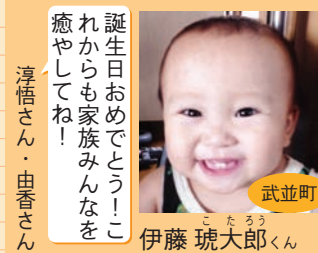
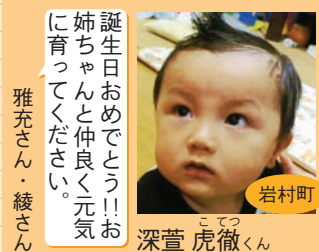


ブドウ狩りで秋の味覚に舌鼓
山岡保育園の園児94人が、岩村町の豊楽園で9月6日にブドウ狩りを行いました。豊楽園の方が「たくさん食べてね」と話し掛けると、園児たちは「早く食べたいね」と互いに顔を見合わせニコリ。ブドウの種類は、緑色をしたナイヤガラと赤紫色のレッドニアガラ。園児らは先生から取り分けてもらい、おいしいブドウに舌鼓を打ちました。爽やかな秋風の中、秋の味覚をおなかいっぱい楽しみました。

募集中

11月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真（なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの）の裏に住所、氏名（ふりがな）、生年月日、性別、電話番号、両親の氏名、30字以内のコメントを添えて、10月17日（月）までに申し込んでください。またケーブルテレビ放映の可否についてもご記入ください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。

□申し込み・問い合わせ
〒509-7292（住所不要）
企画課広報広聴係
☎26-2111（内線319）





といだ やすし
樋田 康さん
77歳

笠置町姫栗

輝く
恵那人

84

HUMAN
WATCH



百年祭へ向け恵那峡の歌を作詞 恵那を全国へ宣伝したい

大正百年祭の次は、恵那峡百年祭。これに先駆け、プロの歌手が歌う恵那峡の歌を作詞した樋田康さん。作詞した歌は、恵那峡や福沢桃介の物語を語る「恵那峡情話」、恵那峡を紹介する「恵那峡観光音頭」など。

恵那峡は、木曾川の急流をせき止めて造った大井ダムにより出来た人工の湖。地理学者志賀重昂が命名した。大井ダムは、大阪へ電力を供給するため、電力王の福沢桃介（福沢諭吉の娘婿）が、日本初の発電用ダムとして1924（大正13）年に建設した。ダム百選にも選ばれ、2007（平成19）年には、近代化産業遺産に認定。80年以上たった現在も最大約8万瓩もの電力を供給し続ける。

樋田さんは、市観光協会笠置支部長を務めていることから、かつては年間100万人以上の観光客が訪れていた恵那峡の衰退を懸念。「活性化できれば」と歌詞を書いた。

歌詞には、恵那峡や大井ダムがで

きた歴史が書かれている。樋田さんは「なぜ、どのようにしてできたかを皆さんに知ってほしい」と話す。作曲は宮川つとむさん。樋田さんと年賀状のやり取りのある作曲家。大井ダムの歴史的意義や桃介と貞奴の逸話に感動し協力してくれた。

樋田さんは、恵那先史文化研究会の役員も務める。研究会でいろんなまちへ出掛け「観光に力を入れているまちでは活力を感じる」「歴史がある恵那峡は、絵や文ではなく歌で紹介すれば、共感してもらえるのでは」と考えるようになった。

樋田さんの持論は「観光は宣伝力」。歌って、聞いてもらえれば宣伝になるのでは」と考えた。「大勢の観光客に訪れてもらうために、恵那を全国へ宣伝したい。まちじゅうが互いに力を合わせ観光客を増やしていけたら」と、恵那峡のにぎわいを取り戻し、まちの活性化を願う。曲の振り付けも完成。大勢で歌って踊る恵那峡百年祭が待ち遠しい。

※桃介と貞奴の逸話＝大井ダム工事は難工事。犠牲者が出て作業員の士気が下がったある日、桃介は兩岸に渡したワイヤーからロープ1本でつるしたかごに乗り千尋の谷へ降りた。これに日本初の女優川上貞奴も同行したことから、現場の士気が回復。

園庭の野菜を具にピザを手作り



飯地保育園で9月6日、園児14人がピザ作りに挑戦。園児らが、園庭の畑で収穫したジャガ芋や玉ネギ、ピーマンなどを具にしたピザを手作り。園児たちは、こんがり焼けたおいしそうなピザにかじりつきました。

競技かるたの基礎や戦い方を練習



競技かるた育成指導教室が、9月3日に恵那文化センターで開催。県かるた協会の指導で、自陣の札を相手に取らせないように並べ、相手陣の札を取るための基礎や払い手、つき手、押さえ手などの取り方を練習しました。

昔の遊びで子どもと楽しく触れ合う



NPO法人こぎつねくんわーどらの主催で、昔を振り返ろうと、9月9日、茅の宿とみだで昔の遊びや五平餅作りを開催。参加した親子27人は、ゴム跳びなどで楽しく触れ合った後、五平餅をおいしくいただきました。

明知鉄道で「えなハヤシ御膳」がお披露目



9月8日に明知鉄道で、えなハヤシ列車が初めて運行。初めにテーブルに並んだのは、市内の飲食店らが考えた「えなハヤシ御膳」。次に、あつあつのハヤシライスを食べ「懐かしい味」「肉が柔らかい」などと大好評でした。

長島小で放水体験などを通じて防災を学ぶ



長島小学校で9月16日に、地域防災スクールモデル事業が行われ、5年生83人が参加。児童らは地震体験車で最大震度7の揺れを体験したり、市消防団長島分団の指導で実際に消火時に使うホースで放水したりしました。

連合演習では消防団が連携して消火訓練



9月11日、市内5カ所で消防団ブロック別連合演習を開催。火災を想定し、ブロックごとに訓練場所や時間、内容などを計画。器具操作の経験のない団員も、先輩の指導で操作を行い無事火点へ放水できました。



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
57

八王子神社

明知遠山氏ゆかりの神社



▲県の重要文化財にも指定されている社殿

ひと口メモ

神社境内には「光秀公手植えの楓^{かえで}」や、光秀公建立と伝えられている桔梗紋^{ききょうもん}を彫りつけた「柿本人麻呂神社」、また神社隣の龍護寺には「光秀公の供養塔」など、明智光秀ゆかりの地として多くの伝説を残している。

明智町にある神社で、牛頭天王^{ごずてんのう}の8人の王子が祭られたということがその名の由来。社伝によれば949(天暦3)年から、明知、串原、高波、浅谷^{あさかい}などの諸村を領していたが、1574(天正2)年、武田勝頼^{かつより}の軍勢により明知城とともに焼失。現在の社殿は、1676(延宝4)年、旗本明知遠山氏によって造営されたもので、本殿、幣殿^{はいでん}、拝殿^{はいでん}を連結したいわゆる権現造。社殿や絵馬は県の重要文化財に指定されている。

また10月9日(日)に開催される大祭には、市の無形民俗文化財の明智太鼓が奉納される。



▲毎年行われる八王子神社の大祭では、明智太鼓を奉納

えな自慢

58

えな祭

下手向の獅子芝居

歌舞伎を演ずる獅子舞



▲県重要無形民俗文化財の獅子芝居(「箱根山」)

ひと口メモ

獅子舞保存会は1987(昭和62)年に発足し、ことし24年目を迎え、約50人で活動をしている。2001(平成13)年には、ニューヨークのカーネギーホール、2010(平成22)年には東京の国立劇場で獅子芝居を披露した。

山岡町下手向^{しもとうげ}の白山比咩神社^{しらやまひめ}の祭礼に演じられる奉納芸。祭礼では獅子舞による悪魔祓い^{ばらい}を演じ、社殿の前では、おかめに神主がからむユーモラスな芸を奉納。夜には芝居小屋で悪魔祓い、獅子芝居などが演じられる。現在の奉納獅子舞は、1702(元禄15)年、信州小諸藩主松平乗紀^{のりただ}が岩村藩への国替えを切っ掛けに導入された嫁獅子によるものとされる。その後、いつしか余興として歌舞伎狂言のさわりの場面を獅子が演ずるものとなった。獅子芝居は神に捧げる「奉納芸」。県の重要無形民俗文化財に指定されている。

ことしの祭礼は、10月9日(日)、10日(月)に開催される。



▲五穀豊穡、無病息災などを願って地域内で悪魔祓いを披露する

次号は10月15日号
発行日は10月14日(金)です

広報えな No.160
2011年(平成23年)
10月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎(0573)26-2111/☎25-6150
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒info@city.ena.lg.jp

『広報えな』10月1日号、1部当たりの印刷経費は約11.1円(税込み)です。



市安心安全メール配信システム
(登録用QRコード)
市WEB版文字放送システム
(閲覧用QRコード)

口問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

